

zoo かみね



31号

目立市かみね動物園

1999



動物と私

大好きな動物と ともに歩んで

うえ むら まさ こ
上 村 雅 子

私は、小さい頃から虫でも、ネズミでも、動くものなら何でもいと思うくらい動物が好きでした。両親も動物好きだったせいか、身の回りには常に動物たちがいました。

高校進学の際は、迷わず畜産科のある高校に決めました。私の高校生活は、長期の休み（夏、冬休み）に入ると必ず牧場や、動物園等といった所で実習させていただき、動物に関係する仕事は、ひと通り体験してきました。夢にまで見た動物園の飼育係は、かみね動物園で実習させていただきました。動物園の皆様が暖かく見守って下さる中、貴重な体験を積むことが出来ました。動物園の皆様には、本当にお世話になり、ありがとうございました。

これらの体験を通して将来は、酪農に進みたいと思うようになりました。酪農といえば北海道しか

ないと思い、北海道の大学で酪農を学びました。就職は、現場で働きたく、酪農ヘルパーを選びましたが、現実には厳しく、今だに牛を経済動物（牛乳や食肉用に飼い、利益を上げるための動物）として見る事ができずにいます。

今の私にとって動物たちは、生活そのものであり、生きていく上でとても支えになっています。現在ブルーボタンインコ2羽と、ブンチョウ1羽と共に生活していますが、これを機にもう一度お互いが生活しやすくなるように、彼らとの関係を見つめなおしてみたいと思います。



ひょうしせつめい 《表紙説明》

■ライオンウサギ

分類：ウサギ目 ウサギ科
原産国：ドイツ

首の回りにライオンのたてがみのような長い毛があり、この名が付けました。大きさは1kg程度で、毛色は様々です。かみね動物園では、1年ほど前からワンペアを飼育していますが、どちらも黒い毛色をしています。最近では、ペットとして注目を浴びています。

もくじ

動物と私	2
動物園の顔（ハートマンヤマシマウマ）	3
飼育レポート	4
動物園ニュース	6
千支にちなんで	8
動物園豆知識	10
ア・ラ・カルト	11

動

物

園

の

顔



ハートマンヤマシマウマ

(奇 蹄 目 : ウ マ 科)

アンゴラから南西^{なんせい}アフリカのオレンジ川^{がわ}までの、西海岸^{にしがいがん}にそった岩^{いわ}の多い山岳^{おお さんかく}地帯^{ちたい}のごく限^{かぎ}られた地域^{ち いき}に生息^{せいそく}しているめず^{めずら}らしい種類^{しゆるい}のシマウマ^むです。7~12頭^{とう}くらい^むの群^むれをつくり生活^{せいかつ}しています。岩^{いわ}場^ばを歩^{ある}くのは非常^{ひじょう}にうま^{うま}く、シマウマ^{なか}の中^{なか}では大型^{おおがた}で、細^ほ長^{そなが}い耳^{みみ}、尻尾^{しつぽ}の短^{みじか}いふさ毛^げ、首^{くび}の下^{した}の小^{ちい}さな肉垂^{にくだ}れなどが特^{とく}徴^{ちゆう}としてあげられます。ヤマシマウマ^{おも}は主^{しゅ}に早朝^{そうちよう}と夕方^{ゆうがた}に行動^{こうどう}し、雨^う季^きには5キロ^ごほど歩^{ある}き、草^{くさ}を食^たべ、また木^この葉^はを食^たべ

ることもあります。日中^{につちゆう}は木陰^{こかげ}などで休^{きゆう}憩^{けい}します。体^{からだ}を横^{よこ}にして眠^{ねむ}るのは子^こども^こだけで、成獣^{せいじゆう}は昼夜^{ちゆうや}でも首^{くび}を下^{した}にさげた^{さげ}ただけで眠^{ねむ}ることができます。

動物園^{どうぶつえん}で一日^{いちにち}あたりのエサ^{とうぶん}(1頭分)

夏 ^{なつ} 5月 ^{がつ} ~10月 ^{がつ}		冬 ^{ふゆ} 11月 ^{がつ} ~4月 ^{がつ}	
青 ^{あお} 草 ^{くさ}	20 kg	ぼくかんそう 牧乾草 ^{ぼくかんそう}	5 kg
ペレット	1 kg	ペレット	1 kg
ヘイキューブ	1 kg	ヘイキューブ	1 kg

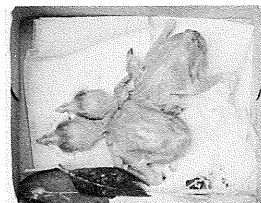
▶カンムリシロムクの人工育雛

まさ とう はる ひさ
正 藤 陽 久

■はじめに

カンムリシロムクはバリ島にのみ生息するスズメ
目ムドリ科の20cm程の白色の美しい鳥で
す。近年生息数を減らしているため、動物園で
は、血統管理し、繁殖に力を入れています。

当園では、昨年の5月までに3羽の孵化があり



ましたが、いずれも8日
目（自然育雛）に死亡
し、死因については判
然としませんでした。

そこで、このまま自然
育雛を続けて失敗を繰り返すよりも、死亡が予想
される前に人工育雛にきりかえて成育させようと
判断し、2羽の成育に成功したので報告します。

■人工育雛した個体

14羽の雛のうち、死亡前に取り上げることがで
きた5羽について行いました。人工育雛開始の
孵化日齢は人工孵化の1例を含め、0、5、7、15
日とまちまちでした。（表1）

■方法

1. 人工育雛開始時期 孵化後しばらくは自然育
雛とし、死亡が予想される日より前に巣箱から
取り出して人工育雛に切り替えました。

2. 育雛器 ①ティツ

シュペーパーを敷き
詰めた紙箱の中に雛
を入れ、保育器に収
容しました。器内は



30℃前後にしました。

②羽根が生え揃った頃に保育器から、止まり木を
付けた大きめのダンボール箱に移し替えました。
温度を保つのは、ヒヨコ電球を用いました。

3. 餌及び給餌 ①餌は、固形のキャットフード
を水でふやかした物を主とし、キュウカンチョ
ウフードも1～2割程度与えました。巣立ち後
には、ミルワームも与えるようにしました。

②給餌は、1時間毎から少しずつ回数を減らして
いきました。

③基本的には、雛自らが口を開いたときに要求す
るだけさし餌しました。また、時間的に要求し
ても良いのに催促しないときは、指で口を開け
食べさせるという補助給餌も行いました。ただ
し、十分注意し自ら吞み下さないときは、やら
ないようにしました。

④孵化4週齢ぐらいからさし餌と併せて置き餌も
行い、置き餌の採餌がよくなってからは、置き
餌のみとしました。

■結果

人工育雛した5羽中2羽（No.4、No.14）を
巣立ちさせることができました。3羽は、人工育雛
開始6日目、孵化11日目（No.5）、人工育雛開始
1日目、孵化1日目（No.10）、人工育雛開始5日
目、孵化5日目（No.11）に死亡しました。死因は
いずれも消化不良による鼓腸でした。

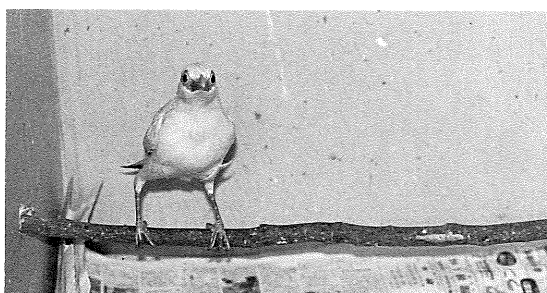
■考察

2羽ではあるが、成育させることができ、人工
育雛をある程度確立できたのではないかと考えて

います。この成功は、自然育雛のうまくいかない血統を残す方法として期待できるものと考えています。

成育させることができた2羽は、死亡した3羽に比べ、人工育雛開始日齢が大きかったため、消化能力が高かったと考えられ、死亡した3羽がいずれも消化不良による鼓腸が原因と考えられることと合わせ、消化能力の差が人工育雛の成否に極めて大きかったと考えられます。

今後、人工育雛を開始する日齢をできるだけ遅くすることや、日齢の若い雛に対し、ても消化の良い餌の選択、給餌方法を検討して行く必要があると思われました。



さいご ■最後に

今回の成功には、動物園に持ち込まれるムクドリ雛を育てた経験が非常に役に立ちました。実際、全く同じ方法で行いました。

人工育雛には一応成功しましたが、この雛が繁殖に供することができるかどうか、本当の意味での成功と考えられるため、今後ペア形成させ、慎重に見守っていきたいと思います。

また、飼育担当者とも話し合い、自然育雛の成功に向けた努力もしていきたいと思っています。

ひょうはんしよくじょうきよう
(表1) 繁殖状況

No	さんらん び 産卵日	ふ か び 孵化日	し ぜん じんこういくすう 自然or人工育雛 開始日 (日齢)	す だ び 巣立ち日	し ぼ う び 死亡日	し ぼ うにちれい 死亡日齢
1	?	H 9.7 / 29	し ぜん 自 然		8 / 6	ふ か じょう か め 孵化8日目
2	?	H 9.8 / 29	//		9 / 6	ふ か じょう か め 孵化8日目
3	?	H 10.5 / 1	//		5 / 9	ふ か じょう か め 孵化8日目
4	?	6 / 20	6 / 27 (7)	7 / 13 孵化23日目		せい ぞん 生 存
5	?	6 / 22	6 / 27 (5)		7 / 3	ふ か じょう か め じんこういくすうわい か め こちよう 孵化11日目(人工育雛6日目)鼓腸
6	?	7 / 26	し ぜん 自 然		7 / 26	とう じつ 当 日
7	?	7 / 29	//		7 / 29	とう じつ 当 日
8	?	8 / 24	//		8 / 27	ふ か みつ か め 孵化3日目
9	?	8 / 28	//		8 / 28	とう じつ 当 日
10	?	9 / 20	9 / 20 (0)		9 / 21	ふ か じょう か め じんこういくすうわい か め こちよう 孵化1日目(人工育雛1日目)鼓腸
11	?	9/21 人工孵化	9 / 21 (0)		9 / 26	ふ か いづ か め じんこういくすういつ か め こちよう 孵化5日目(人工育雛5日目)鼓腸
12	?	10 / 19	し ぜん 自 然		10 / 22	ふ か みつ か め 孵化3日目
13	?	10 / 19	//		11 / 3	ふ か じょう か め 孵化15日目
14	?	10 / 19	11 / 3 (15)	11/21 孵化24日目		せい ぞん 生 存

※No. 11の人工孵化は9 / 20に孵卵器に収容した。



どうぶつえん 動物園



おもでごと 主な出来事

H10.9.16~H11.3.15

がつはつ か あいししょう
H10. 9月20日・クロサイ (メス・愛称バーバラ
すいてい さい にほんいちこうれい
推定 35 才) 日本一高齢のクロサイ
ひょうしょう う
として表彰を受ける。

にち しよくばほうもん
29日・職場訪問
ひたちしりつたがちゆうがつこう めい
(日立市立多賀中学校、9名)

がつついでち
10月1日・クロサイ(メス、バーバラ)オス
とうそう しぼう
との闘争により死亡

ふつ か しよくぎようたいげんがくしゆう
2日・職業体験学習
ひたちしりつすがわちゆうがつこう めい
(日立市立助川中学校、18名)

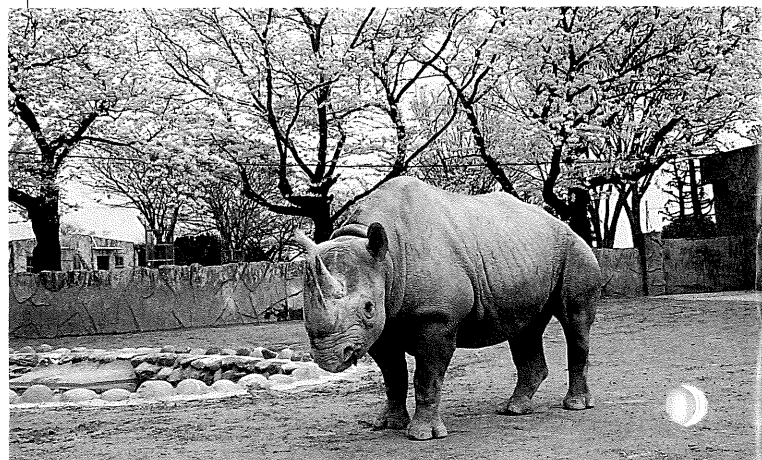
いつ か
5日・シシオザル(オス1頭) 獣医室隔
りしや だいい しや いどう
離舎より、第2サル舎に移動。
がつ にちはんにゆうこうたい
(6月17日搬入個体。)

にち あき かいいい
25日・秋まつり開催。
にち しやせいたいかい がつ みつ か
(25日 写生大会) (11月1・3日)
あき
秋まつりダョ! クイズラリー
あか めいめいしき
クロサイの赤ちゃん命名式
あいししょう けつてい
(愛称メイに決定)

にち よこはまし
26日・ニホンザル(オス5頭、メス12頭)
どうぶつえん はんしゆつ
横浜市よこはま動物園に搬出。

にち どうぶつこうかん
29日・動物交換。

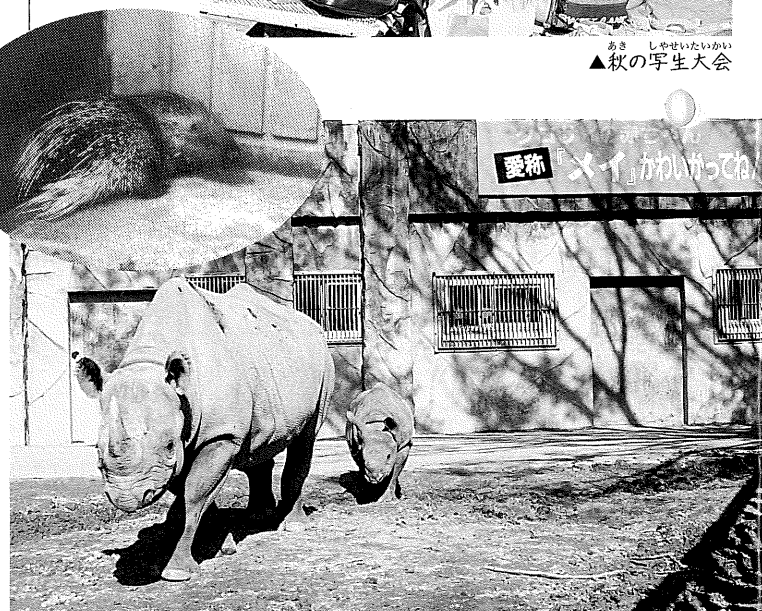
ミークヤット(オス・メス各
1頭)・アフリカタゲガミヤマ
アラシ(1頭)・コツメカワウソ
(オス1頭)・ミニブタ(オス・メス
各1頭) 搬入し、ベニコンゴウイン
コ・タイハクオウム・キエリボウシイ
ンコ(各1羽)・シナガチョウ(オス・
メス各1羽) 搬出する。



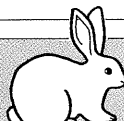
▲クロサイの
バーバラ、
にほんいちながい
日本一長生き
しました



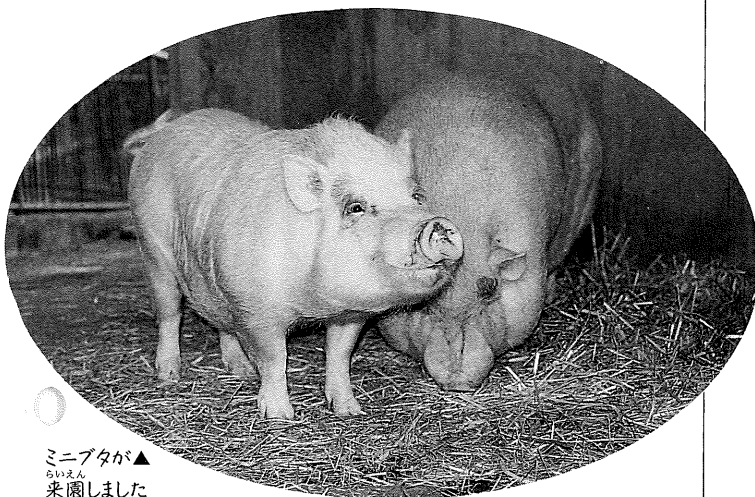
▲秋の写生大会



▲メイちゃんです。よろしくね



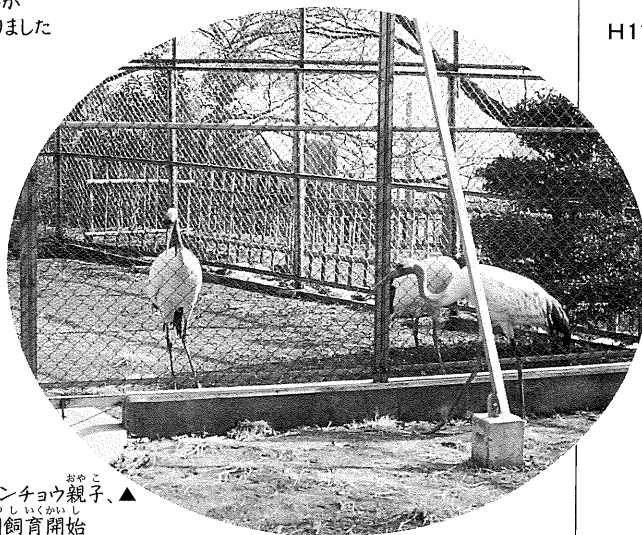
ニュース



ミニブタが▲
来園しました



▲の外壁が
きれいになりました



タンチョウ親子、▲
別飼育開始

おも で き ごと 主な出来事

H10.9.16~H11.3.15

11月5日・ラマ（オス1頭）繁殖。

7日・カンムリシロムク、6月20日に孵化し
じんこういくすう こ ない ねつたいちようしや い とう
た人工育雛個体を熱帯鳥舎に移動。

11日・職業体験学習
（日立市立泉ヶ丘中学校、7名）

13日・職業体験学習
（日立市立台原中学校、8名）

19日・職業体験学習
（常陸太田市立常陸太田中学校、3名）

22・23日・クロサイ交尾。

25日・キリン・カバ・サイ舎外壁工事開始。
（～平成11年2月18日まで）

12月12日・アミメキリン（オス1頭）愛称タカ
15才）股関節炎からの起立不能、
および循環障害により死亡。

28日・カンムリシロムク、10月19日に孵化し
じんこういくすう こ ない ねつたいちようしや い とう
た人工育雛個体を熱帯鳥舎に移動。

・ニホンザル（メス1頭）人工哺育
個体をサル山に帰す。

H11.1月2日・正月まつり
こども動物園にて干支のウサギの
展示

9日・アフリカタテガミヤマアラシ（メス
1頭）死亡。

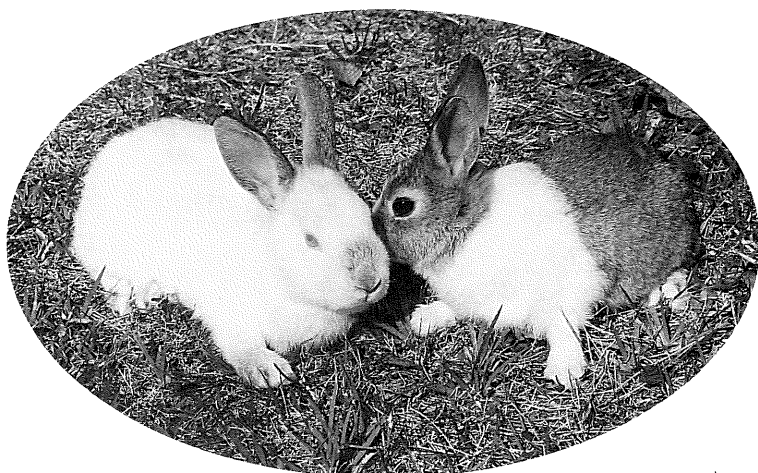
13日・アジアゾウ血液検査 行う。

2月26日・ラマ・シェットランドポニー搬出。

27日・タンチョウ、親鳥と幼鳥を別飼育
始める。

卵

エトにちなんで

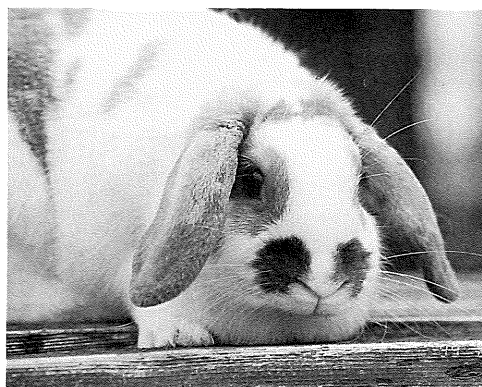


がくじゆつじよう ぶんるい ■学 術 上 の 分 類

ウサギをハムスターやネズミと同じげっ歯目とおもっているひともあるかもしれませんが、ウサギ目(重歯目)という独立した分類になっています。ウサギ目とげっ歯目では歯の構造が違います。ウサギ目は、上あごの門歯の後に小さな門歯があり、重歯目とも呼ばれています。学術上の分類によると、ウサギは脊椎動物・哺乳綱・ウサギ目に属し、ウサギ目は、ウサギ科とナキウサギ科に分

かれます。このうちウサギ科は、さらにノウサギ系とアナウサギ系に大きく分けることができます。群れで生活するアナウサギに対し、単独行動するノウサギなど、彼らの生態にはかなり違いが見られます。ウサギの種類は2科12属59種です(学説により変動あり)。ひと口に野生のウサギといっても、さまざまな仲間たちが南極以外の各地で、森林や湿地など、それぞれの環境に適応しながら暮らしているのです。

アナウサギ	ノウサギ
・耳が短く、体のサイズが小さい。 ・集団生活 ・行動範囲が狭い。 ・地下に巣穴を作る。 ・生まれたばかりの子ウサギは、毛が生えていない。また、目は閉じていて何も見えず、自分で動くことができない(晩成性)。体温のコントロールもできない。 ・妊娠期間 30日	・耳が大きい、体のサイズが大きい。 ・単独生活 ・行動範囲がアナウサギよりはるかに広い。 ・巣穴を作らない。 ・生まれたばかりの子ウサギでも毛がすっかり生え、目が開き、生まれてすぐ走ることができる。 ・妊娠期間 40日 ・冬になると毛色が白くなる種がいる。



■ペットとしてのウサギ

現在飼われているウサギは、ヨーロッパアナウサギが改良されたもので、もともとの生息地はイベリア半島からアフリカ北西部にかけて生息していたものです。はじめは、食用と狩猟用に飼育されていましたが、やがてさまざまな品種改良が加えられ、毛皮用、さらにはペットとしてのウサギが作られたのです。現在の品種は150種以上、食用から実験用まで今も品種改良が続けられています。

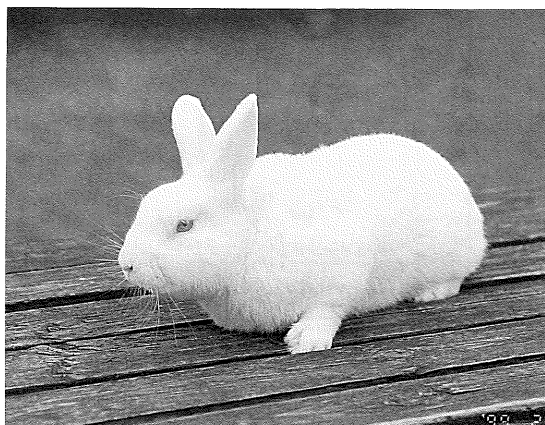
ウサギの品種は、体型や体重、毛の色や長さなどその特徴が決められています。ウサギの大きさは、おおまかに分けると次の3タイプになります。1.5kg以下を小型種、2.5~5kg位を中型種、そして体重が5kg以上を大型種。世界最大級のウサギと言われているフレイミッシュ・ジャイアント、秋田ジャンボなどは体重が10kgを超えるものもあります。ウサギの毛の長さもまた3タイプに分けることができます。ごく普通の標準タイプに比べて、長い毛を持つぬいぐるみのようなアンゴラ種。この長毛種と対比的なのが、まるで毛を刈り込んだように毛の長さがそろった短毛種のレックスです。「ピロードの感触」とよく形容されますが、的を得ています。今度はウサギの耳に注目してみましょう。ほとんどのウサギは立ち耳です。この立ち耳の系統に対して垂れ耳のウサギたちがいます。ロップイヤーと呼ばれるこのタイプは突然変異で生まれたものです。

にほんはくしよくしゆ

■日本白色種

私たちのウサギのイメージと言いますと、長い耳、ちょこんとついた尾、真っ白で赤い目のウサギを想像される方が多いと思います。いろいろなウサギがいるのに、なぜウサギといえば「真っ白で赤い目」なのでしょうか？

赤い目というのは、目に色素がないため眼球の網膜上の血管が透けて見えているもので、いわゆる「アルビノ」です。この種のウサギは、色素も持っていないため毛色も白くなります。この「真っ白で赤い目」のウサギは日本白色種と言います。



日本でのカイウサギは16世紀にオランダから来たと言われています。明治時代にウサギの輸入と飼育が盛んになり、いろいろな国から輸入されたウサギの品種が混ざりあって出来上がったのが、この「日本白色種」なのです。



どうぶつえん



どうぶつえん 動物園では動物にどのような餌を与えているのでしょうか。

自然界での動物の食性 (動物名は動物園にいる動物)

おも にく さかなしよく 主に肉・魚食 (主に肉類や魚を食べる動物)	ほにゅうるい 哺乳類…トラ、ライオン、ヒョウ、ハイエナ、アザラシ はちゅうるい 爬虫類…ニシキヘビ、クサガメ ちようるい 鳥類…ペンギン、ペリカン、ツル、トキ、ウミウ、ワシ、タカ、フクロウ
おも くさ は 主に草や葉・穀類・果実食 (主に植物性の物を食べる動物)	ほにゅうるい 哺乳類…ゾウ、ラマ、バイソン、シマリス、ウサギ、テンジクネズミ、ヤギ、ロバ、ラクダ、シカ、オオコウモリ、プレーリードッグ、ヤマアラシ、カバ、クロサイ、ポニー、キリン、シマウマ、ゴリラ、テナガザル はちゅうるい 爬虫類…イグアナ ちようるい 鳥類…ペンギン、ペリカン、ツル、トキ、ウミウ、ワシ、タカ、フクロウ、をのぞくちようるい鳥類
ぎつしよく にくしよく 雑食(やや肉食) (肉や魚・昆虫の他に果物なども食べる動物)	キツネ、タヌキ、アナグマ、ハクビシン、アライグマ、フェレット、ミーアキャット、マーモセット類、リスザル
ぎつしよく そうしよく 雑食(やや草食) (果実や葉茎の他に卵や昆虫なども食べる動物)	サル類、チンパンジー、レッサーパンダ、ツキノワグマ、ミニブタ
そ の 他 (プランクトンなどを食べている動物)	フラミンゴ

動物園の飼料の種類

にく 類	がいにくさん 外国産カンガルー肉、馬肉、鶏頭
ぎよ かい 類	アジ、サバ、ワカサギ、オキアミ
や さい 菜	ハクサイ、キャベツ、セロリ、サツマイモ、ニンジン、小松菜、タマネギ
か じつ 実	バナナ、リンゴ、ミカン(缶詰)
こく さい 類	ニワトリ用配合飼料(2種類)、ハト用配合飼料、フスマ、大豆粕、ヒエ、ヒマワリ
ぼく そう 牧 草 類	チモシー、ルーサン、イタリアンライグラス(青草・乾草)、スタックス、ヘイキューブ(アルファルファ)
べれっと 類	そうしよくどうぶつよう 草食動物用(3種類)、クマ用、サル用、イヌ用、ネコ用、フェレット用、キュウカンチョウ用、イグアナ用、ウサギ用、レッサーパンダ用、ツル用、フラミンゴ用、牛用配合飼料(ペレット+穀類)
そ の 他	しお 塩、カルシウム類各種、ビタミン類各種、蜂蜜、イヌ用ミルク、ネコ用ミルク、牛乳、卵、チーズ、ヨーグルト、パン、ミルワーム

以上のように肉を食べる動物には肉を、草を食べる動物には草を、といったようにその動物の食性から飼料を与えていますが、栄養のバランスを考えて、ビタミン類などが含まれているその動物用の固形飼料(ペレット)を与えたり、カルシウムなどのミネラルを添加したりしています。また、フラミンゴのように自然界ではプランクトンを食べている動物には、ペレットをふやかしたものにオキアミを混ぜて与えています。このように動物園では、多種多様な飼料を毎日その動物にあわせて調理し、与えています。

ア・ラ・カルト

昆虫探索 のススメ

昆虫探索のススメ
昨年、夏の特別展で「郷土の昆虫たち」と題し、日立近辺にすむ身近な昆虫たちの生きた姿を来園者の方々に見てもらいました。特に子どもたちにとって生きた昆虫は、大人気で楽しんでもらえたと思います。展示した昆虫は、職員の手で捕獲したもので、大人になった今も、自然の中で昆虫を発見した時のあの感激は、何とも言えないものです。

しかし、最近では、昆虫と出会うことの感動を知らない子どもたちが多いのではないのでしょうか。いつ頃からか、昆虫採集は、自然保護に反する残酷な行為だということがいわれていますし、また、テレビゲームなど室内で遊ぶ子どもが増え、デパートへ行けばカブトムシが500円前後で売られているのも現実です。このようなことも子どもたちの自然離れをますます強めているのではないのでしょうか。昆虫探索は、自然のすばらしさや生物と自然との関わりを教えてくださいと思います。

自然の中で感動といっしょに見つけたカブトムシは、少なくとも500円以上の価値は十分あるのです。※特別展終了後、昆虫たちは山へ放しました。

家族 の きずな

家族のきずな
昨年の6月7日、タンチョウの夫婦によりやく1羽のヒナが誕生しました。ところが、このヒナのお母さんは数年前、大きな物音に驚き、飛び上がったときに金網にくちばしをひっかけてしまい、上のくちばしが半分くらい折れてしまっています。

ですからお母さんは、ヒナがおながをすかせていても、上手に餌を食べさせてあげられません。そこでお父さんが、お母さんの分も毎日ヒナに餌を食べさせるようになりました。(野生のタンチョウは、夫婦が交代で面倒を見ます。)お母さんは、その間ずっと見張りをしています。母は強いという言葉どおり、その時のお母さんの厳しさは、たとえ担当者であってもヒナに近づくことはできません。

お父さんに食べさせてもらい、お母さんにずっと守られて、愛情いっぱいに育ったヒナは、今ではすっかり大きくなり、お母さんと同じくうの体になっています。そして3~4年後には、お父さん・お母さんと同じような美しい羽根になることでしょう。

まだ男の子か女の子か分かりませんが、元気いっぱい、愛情いっぱいのタンチョウの家族に会いに来てください。

WWFジャパンからのお知らせ

WWFは、1961年に設立され、世界153カ国で12,000件以上の事業を行ってきた民間の自然保護団体です。WWFジャパン(財世界自然保護基金日本委員会)は、自然環境を守り、野生の動植物を救うために資金を集めています。

みなさんも、同じ地球にいる仲間として、ぜひWWFジャパンの事業に協力しませんか。

★入会や寄付に関するお問い合わせは下記まで
〒105-0014 東京都港区芝3-1-14

日本生命赤羽橋ビル6F
財世界自然保護基金日本委員会
☎03-3769-1241(会員係)

協力の方法

1. 会員になる
会員の方には会員証を発行し、定期的に機関誌をお送りします。年会費は、
○Jレンジャー会員 (15歳まで) 1,500円
○レンジャー会員 (20歳まで) 3,000円
○一般会員 5,000円 10,000円 15,000円 30,000円 60,000円
2. 寄付をする
3. 募金に協力する

○みなさんの会費や、寄付、募金は、日本国内だけでなく、世界の動植物を救うために使われます。

◎行事案内

1. ちびっこまつり..... 5月2日~5日
 2. サマースクール..... 7月下旬
 3. 夜の動物園..... 8月上旬
 4. 一日飼育体験..... 9月15日
 - ◎「ふれあい教室」開催... 3月~6月、9月~11月
- 子供動物園ふれあい広場にて火~金曜日
10:30~12:00、一日先着4団体。予約制です。

飼育動物点数(平成11年3月1日現在)

哺乳類	52種	309点
鳥類	43種	242点
爬虫類	6種	37点
合計	101種	588点

ZOOかみね 31号

編集 日上市かみね動物園
発行 (財)日上市公園協会
発行日 1999.4.20

日上市宮田町5-2-22 ☎(0294)22-5586 FAX 22-5596
日上市宮田町5-2-22 ☎(0294)22-4737 FAX 22-4740

はる えんそく
春の遠足は
日立市かみね公園で!!



じょうばん じ どうしゃどう
●常磐自動車道

ひ たちちゅうおう ぶん
日立中央ICより3分



どう
動

ぶつ
物

えん
園

ちびっこまつり

がつ 2 日 日 ~ 5 日 水

かく しゅ にん き かい さい
各種人気キャラクターショー開催

3 日 月

きゅう きゅう せん たい
救急戦隊

ゴーゴファイブ

AM11:00, PM2:00

4 日 火

かみ かぜ かい どう
神風怪盗

ジャンヌ

AM11:00, PM2:00

5 日 水

も 燃えろ!!

ロボコン

AM11:00, PM2:00

きゅうえん び まいしゅうげつよう び はるやす がつ なつやす む きゅう
休園日：毎週月曜日(春休み、4月、夏休みは無休)

財団法人日立市公園協会

〒317-0055 日立市宮田町5-2-22
TEL (0294) 22-4737(代)

■レジャーランド……(0294)22-4743 ■市民プール……(0294)23-3045
■遊園地……(0294)23-1515 ■ホリゾンかみね……(0294)22-2045

日立観光テレフォンサービス TEL (0294) 24-1000